

大分の部落解放運動の歩み

人の世に熟あれ、人間に光あれ 大分の部落解放運動の歩み




一九二〇年三月、中津市で部落解放同盟が結成された。差別と闘争に奮闘してきた部落民の代表者、志士たちが、人の世に熟あれ、人間に光あれと叫び、部落解放の旗を高く掲げた。この旗は、部落民の苦闘と希望の象徴であり、差別と闘争の旗である。この旗の下に、部落民は団結し、差別と闘争の道を歩んでいく。一九二〇年三月、中津市で部落解放同盟が結成された。差別と闘争に奮闘してきた部落民の代表者、志士たちが、人の世に熟あれ、人間に光あれと叫び、部落解放の旗を高く掲げた。この旗は、部落民の苦闘と希望の象徴であり、差別と闘争の旗である。この旗の下に、部落民は団結し、差別と闘争の道を歩んでいく。

数々の差別法令(Ⅰ) 差別の押し付けとその強化

一 歩人種も、血縁も、宗教も、階級も、職業も、性別も、年齢も、障害も、差別の押し付けとその強化

この史料は、中津市内の部落民に、出された差別法令の中で、最も悪影響を及ぼしたように感じられるものが多い。彼らは、差別の押し付けとその強化を、苦闘の旗の下に、差別と闘争の道を歩んでいく。一九二〇年三月、中津市で部落解放同盟が結成された。差別と闘争に奮闘してきた部落民の代表者、志士たちが、人の世に熟あれ、人間に光あれと叫び、部落解放の旗を高く掲げた。この旗は、部落民の苦闘と希望の象徴であり、差別と闘争の旗である。この旗の下に、部落民は団結し、差別と闘争の道を歩んでいく。

数々の差別法令(Ⅱ)

これらの法令は、差別の押し付けとその強化を、苦闘の旗の下に、差別と闘争の道を歩んでいく。一九二〇年三月、中津市で部落解放同盟が結成された。差別と闘争に奮闘してきた部落民の代表者、志士たちが、人の世に熟あれ、人間に光あれと叫び、部落解放の旗を高く掲げた。この旗は、部落民の苦闘と希望の象徴であり、差別と闘争の旗である。この旗の下に、部落民は団結し、差別と闘争の道を歩んでいく。

差別への抵抗 人権獲得の先駆者としての被差別民

差別への抵抗、人権獲得の先駆者としての被差別民。一九二〇年三月、中津市で部落解放同盟が結成された。差別と闘争に奮闘してきた部落民の代表者、志士たちが、人の世に熟あれ、人間に光あれと叫び、部落解放の旗を高く掲げた。この旗は、部落民の苦闘と希望の象徴であり、差別と闘争の旗である。この旗の下に、部落民は団結し、差別と闘争の道を歩んでいく。

復権同盟 明治期における解放への熱い思い

復権同盟、明治期における解放への熱い思い。一九二〇年三月、中津市で部落解放同盟が結成された。差別と闘争に奮闘してきた部落民の代表者、志士たちが、人の世に熟あれ、人間に光あれと叫び、部落解放の旗を高く掲げた。この旗は、部落民の苦闘と希望の象徴であり、差別と闘争の旗である。この旗の下に、部落民は団結し、差別と闘争の道を歩んでいく。

大分水平社の創立



大分水平社創立の経緯。一九二〇年三月、中津市で部落解放同盟が結成された。差別と闘争に奮闘してきた部落民の代表者、志士たちが、人の世に熟あれ、人間に光あれと叫び、部落解放の旗を高く掲げた。この旗は、部落民の苦闘と希望の象徴であり、差別と闘争の旗である。この旗の下に、部落民は団結し、差別と闘争の道を歩んでいく。

解放運動の先駆者

解放運動の先駆者。一九二〇年三月、中津市で部落解放同盟が結成された。差別と闘争に奮闘してきた部落民の代表者、志士たちが、人の世に熟あれ、人間に光あれと叫び、部落解放の旗を高く掲げた。この旗は、部落民の苦闘と希望の象徴であり、差別と闘争の旗である。この旗の下に、部落民は団結し、差別と闘争の道を歩んでいく。

別府的ヶ浜焼打ち事件

別府的ヶ浜焼打ち事件。一九二〇年三月、中津市で部落解放同盟が結成された。差別と闘争に奮闘してきた部落民の代表者、志士たちが、人の世に熟あれ、人間に光あれと叫び、部落解放の旗を高く掲げた。この旗は、部落民の苦闘と希望の象徴であり、差別と闘争の旗である。この旗の下に、部落民は団結し、差別と闘争の道を歩んでいく。

国策樹立請願大行進

国策樹立請願大行進。一九二〇年三月、中津市で部落解放同盟が結成された。差別と闘争に奮闘してきた部落民の代表者、志士たちが、人の世に熟あれ、人間に光あれと叫び、部落解放の旗を高く掲げた。この旗は、部落民の苦闘と希望の象徴であり、差別と闘争の旗である。この旗の下に、部落民は団結し、差別と闘争の道を歩んでいく。

糾弾学習会

糾弾学習会。一九二〇年三月、中津市で部落解放同盟が結成された。差別と闘争に奮闘してきた部落民の代表者、志士たちが、人の世に熟あれ、人間に光あれと叫び、部落解放の旗を高く掲げた。この旗は、部落民の苦闘と希望の象徴であり、差別と闘争の旗である。この旗の下に、部落民は団結し、差別と闘争の道を歩んでいく。

大分の部落解放運動の歩み

**部落解放運動の
広がり発展**



部落解放運動の発展の過程を振り返ると、一九六五年（昭和四十）年の「部落解放運動」の開始から、一九七〇年代前半にかけて、全国的に展開されてきた。この間に、行政、教育、経済、文化、社会、政治、法律など、さまざまな分野で取り組みが行われてきた。とりわけ、行政、教育については、国、各府県、市町村に「部落教育推進委員会」を設置したり、各学校の校務分掌の中に「部落教育推進委員会」を設置したりして、取り組むべき重要な課題として、多くの成果を挙げることができた。その成果は、部落委員の増進、自治体、行政、教育、経済、文化、社会、政治、法律など、さまざまな分野での取り組みの広がり、市民の人権意識の高揚に大きく寄与した。また、この間に、行政、教育、経済、文化、社会、政治、法律など、さまざまな分野で取り組みが行われてきた。とりわけ、行政、教育については、国、各府県、市町村に「部落教育推進委員会」を設置したり、各学校の校務分掌の中に「部落教育推進委員会」を設置したりして、取り組むべき重要な課題として、多くの成果を挙げることができた。その成果は、部落委員の増進、自治体、行政、教育、経済、文化、社会、政治、法律など、さまざまな分野での取り組みの広がり、市民の人権意識の高揚に大きく寄与した。

**部落解放運動の
つながりと発展**



大分県が部落解放運動を推進するに当たっては、一九六五年（昭和四十）年の「部落解放運動」の開始から、一九七〇年代前半にかけて、全国的に展開されてきた。この間に、行政、教育、経済、文化、社会、政治、法律など、さまざまな分野で取り組みが行われてきた。とりわけ、行政、教育については、国、各府県、市町村に「部落教育推進委員会」を設置したり、各学校の校務分掌の中に「部落教育推進委員会」を設置したりして、取り組むべき重要な課題として、多くの成果を挙げることができた。その成果は、部落委員の増進、自治体、行政、教育、経済、文化、社会、政治、法律など、さまざまな分野での取り組みの広がり、市民の人権意識の高揚に大きく寄与した。

（一）部落解放運動の推進
大分県が部落解放運動を推進するに当たっては、一九六五年（昭和四十）年の「部落解放運動」の開始から、一九七〇年代前半にかけて、全国的に展開されてきた。この間に、行政、教育、経済、文化、社会、政治、法律など、さまざまな分野で取り組みが行われてきた。とりわけ、行政、教育については、国、各府県、市町村に「部落教育推進委員会」を設置したり、各学校の校務分掌の中に「部落教育推進委員会」を設置したりして、取り組むべき重要な課題として、多くの成果を挙げることができた。その成果は、部落委員の増進、自治体、行政、教育、経済、文化、社会、政治、法律など、さまざまな分野での取り組みの広がり、市民の人権意識の高揚に大きく寄与した。